

令和4年

3月14日(月)

【その13】

にゅうとう雲



いよいよ、2年生の生活もあとわずかとなりました。4月からは最高学年である「3年生」の生活が始まります。この3学期、そして1年間を振り返って、みなさんはどんな思いが浮かんでくるのでしょうか？コロナ禍に終止した1年ではありましたが、そのような中でも様々なことがありましたね。



そんな2年生の生活を振り返って感想を書いてもらいました。それでは、何人かの人を紹介したいと思います！！



『1年間を振り返って』

2年生で印象に残っているのは、運動会と校外学習です。行事がほとんどできない中で行えた行事は、クラスの仲を深めたと思います。

運動会は、大縄やリレーのときに普段話さない子とも会話するきっかけとなりました。みんなで声を出して応援し合ったのが楽しかったです。一年生と二年生、どちらも縮小した形でしかできていないので、小六のときに見たソーラン節などを三年生ではやりたいです。

校外学習では、一日の中でいろいろなことを体験できて楽しかったです。一番楽しかったのは洞窟体験です。真っ暗な世界を体験できて良い思い出になりました。時間がぎりぎりだったので、時計を意識して行動できました。三年生の修学旅行でも時計を意識して、決められた時間をしっかりと守れるようにしたいです。

三年生では、受験に向けて勉強を頑張りながら、新しい友達をつくったり行事を楽しんだりしたいです。

A 組

●「少ない機会に行えた行事だったからこそ、心に残るものとなったのかもしれないね。」

来年度は、ぜひ思う存分、行事に取り組めるようになるといいですね！」



『二年生を振り返って』

僕がこの1年間で頑張ったことは二つあります。

まず一つ目は学習面です。三年生まで残り時間は僅かで、受験のことを考え始める時期となり、行きたい学校を探すには第一にテストの点数を含む「内申点」が重要になってきます。そのため、三年生になってから第一志望の高校に行けないということがないように、今から頑張っていこうと思い力を入れました。その上で多くの反省点が発見されたので、それらを三年生になる前のこの時期に見直し、改善していきたいです。

二つ目は部活動です。今まで引っ張ってくれていた三年生がいなくなり、自分たち二年生が部活というものを引っ張っていくにあたって、なかなか難しいものがあったり、校舎移転により何もかもが手探りになる場面もたくさんありました。ですが、そんなときにもチームワークが発揮されたことにより、一年生を引っ張りながらもいろいろな問題が解決されたと感じます。

最後に、三年生は僕が一年生のときに思っていたよりも大変だなと思います。それは勉強はもちろんのこと、部活動などの生活面でも苦勞するなど思っていて、このことは一年生から三年生になるにつれて、徐々に感じるものでした。そしてそれは悪いことではなく、三年生の心構えとして大切になってくると思っています。そのため、この心構えを踏まえて、これから学校生活を送ってきたいです。

B 組

●「三年生に進級することへの覚悟を感じますね。最高学年としての責任、そして自分の進路選択に対してしっかりと向き合っている様子が伝わってきますよ」

『二年生を振り返って』

私は、二年生の最初に「積極的」という目標を立てました。一年生の頃より、積極的にできたので良かったです。

一つ目は、発言です。今回は国語の発言を頑張りました。他の人より全然少ないけど、一年生の頃より手を上げる回数が増えたので良かったです。このまま自分の意見に自信をもち、三年生ではもっと増やしたいです。

二つ目は、話し合いの輪に入ることです。国語、社会は班で活動することが多くありました。すべて積極的に話し合いに参加できました。相手の意見をしっかり聞いてメモをし、自分の意見を相手に伝える。班で上手に話し合いをし、まとめることができたので良かったです。

このように私は、「積極的」を目標に頑張りました。三年生ではこれを維持し、新しい目標に向けて頑張りたいです。

C 組

●「自分を変えようとする、というのはなかなか難しいものです。しかし、自分で立てた目標を意識して、今までできなかったことにチャレンジするというのは立派ですね」

『二年生を振り返ってあったこと』

1. 「部活で頑張れた」

二年生に入って部活が新体制になりました。僕は部長という重大な役割に任命され、不安でいっぱいスタートでした。最初の頃はチームがうまくまとまらず、練習に力が入らないことも多くあり、去年までたった一人でチームを支えていた先輩の大変さを痛感しました。そんなときに、「一人で背負わなくていいよ」と仲間に使われたことで、部員一人一人が良いチームづくりを目指すようになりました。次第にチームとしての一体感も出てきて練習試合で勝利することも多くなりました。このような経験から、大変なときは抱え込まず頼ってもいいんだと感じました。特に渡邊先生は、真剣に話を聞いてくれたり、みんなをまとめてくれたりしました。普段は先頭に立つような人ではない自分にとって、とても良い環境でバスケができて良かったと思います。

2. 「勉強での反省が多くあった」

二年生では学習面でも学ぶことが多くありました。初期の頃は、特に勉強をしていたわけではなく、良くも悪くもない成績をとっていました。二学期になると、一気にテストの点が落ち、自分への失望で気分が上がらない日もありました。テストの点を上げるために、三学期からはゲームを一度もせず、勉強に打ち込もうとしましたが、やはりゆるんでしまい、テストの点が上がったものの納得がややかない結果でした。ここから得られたことは、良い成績をとるにはある程度のものを我慢し、地道に勉強していくことが大切ということです。

三年生からは受験勉強が始まります。二年生で学んだ、抱え込まないこと、地道な勉強、我慢を強さを大切にし、日々努力していきたいと思います。

D 組

④「先輩の大変さ、そして仲間の有り難さが感じられ、部長になったことで学ぶことが多かったようですね。三年生になって、さらに良いチームになっていけそうですね！」

